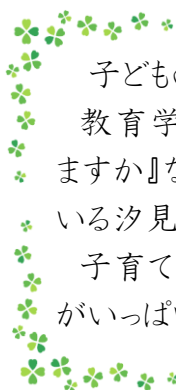




うちどく

家読 講演会

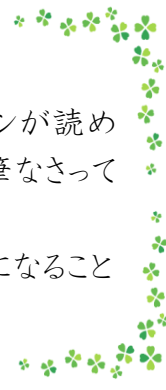
読書は人生の物語をていねいに創る力を育む — 一本との出会いの大切さについて —



子どもの成長にとって本との出会いは、生きる力を育む基礎を作ります。

教育学・育児学がご専門で『学力を伸ばす家庭のルール』『子どものサインが読めますか』など、子育てに大切なことをわかりやすく解説した、たくさんの本を執筆なさっている汐見稔幸先生をお招きした講演会を開催します。

子育て中の保護者、子どもに関わる活動をなさっている方には特に、ヒントになることがいっぱい講演会です。



日 時：平成 24 年 3 月 17 日 (土)

午後 1 時 30 分～3 時 30 分

会 場：小郡市生涯学習センター セタホール

(小郡市大板井 1180-1 Tel: 0942-73-2084)

講 師：汐見 稔幸 (しおみ としゆき) 先生

定 員：100名

託 児：30人 先着順

お申込・お問合せ

小郡市立図書館 Tel: 0942-72-4319

講師のプロフィール

白梅学園大学学長・東京大学名誉教授

1947 年大阪生れ。東京大学教育学部卒、同大学院博士課程修了。東京大学大学院教育学研究所教授を経て、2007 年 10 月から白梅学園大学教授・学長。専門は、教育学、教育人間学、育児学。三人の子どもの育児にかかわってきた体験から父親の育児参加を呼びかけている。

主な著書に『子どものサインが読めますか (女子パウロ会)』『学力を伸ばす家庭のルール』

(小学館)『子育てにとっても大切な 27 のヒントークレヨンしんちゃん親子学』(双葉社)『「パパ権」宣言!—お父さんだって子育てしたい』(共著 大月書店)『子どものコミュニケーション力の基本は共感です』(旬報社)『子育てはキレイ、あせらない』(講談社文庫)『子どもが育つお母さんの言葉がけ』(PHP 研究所) など多数。



家読 (うちどく) とは?

「家読 (うちどく)」とは、読書を通して家族の会話を深めてもらうための試みです。

「家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す」ことを基本に、読書の時間を決めるなど、各家庭で楽しい時間を習慣づけてみませんか。

小郡市では、昨年度から地域・家庭での読書活動として家読 (うちどく) を推進し、読書が食事や睡眠と同じように生活の一部となるよう取り組んでいます。

